

施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
健康危機管理対策推進事業	健康づくり支援課	1 / 2
結核医療体制強化事業	健康づくり支援課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	健康危機管理対策推進事業		事業期間	平成14年度～令和 年度		政策区分	安全・安心な県土づくりと危機管理体制の充実	
				施策区分	感染症・伝染病対策の確立			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	健康づくり支援課		評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	<p>県民の生命と健康を脅かす、新型インフルエンザ、エボラ出血熱及びMERS (中東呼吸器症候群) などの健康危機に対し、保健所及び本庁の健康危機管理担当者を中心として、国、県、市町村及び医療機関等の関係機関と連携し、迅速に対応できる体制を整備することが求められている。</p>	事業の目的	<p>健康危機情報の管理・発信や健康危機管理対応能力の充実・向上を図るため、健康危機管理体制の整備、連携を行うほか、保健所管内健康危機管理連絡会議や新型インフルエンザ対策本部訓練などを実施する。</p>
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①健康危機管理対応能力の充実・向上 保健所管内健康危機管理連絡会議の開催、健康危機管理研修会(1回)や健康危機管理シミュレーションの実施、健康危機管理事例集の作成等	①	1,025	総コスト	7,316	6,887	7,577
②新型インフルエンザ等の新興感染症対策 新型インフル情報伝達訓練(1回)、各保健所における新型インフル等対策訓練の実施(8回)	②	772	事業費	2,316	1,887	2,577
③健康危機情報の管理・発信 健康危機情報提供システムの管理や運営費等	③	541	(うち一般財源)	1,748	1,325	2,099
④健康危機管理体制の整備・連携 健康危機管理対策調整会議の開催(1回)	④	206	人件費	5,000	5,000	5,000
	計	2,544	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	健康危機管理研修会の開催(回)		目標値	1	1	1			40%	i-FAX使用回数(回)		目標値	6	6	6		
		実績値	1	1							実績値	6	6				
		達成率	100.0%	100.0%							達成率	100.0%	100.0%				
感染症等対策訓練(回)		目標値	7	7	7			30%	健康危機管理対策調整会議の開催(回)		目標値	1	1	1		8%	
		実績値	8	8							実績値	1	1				
		達成率	114.3%	114.3%							達成率	100.0%	100.0%				

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
新型インフルエンザ等感染症発生時広域対応訓練参加機関数(機関)	目標値	27	27	35			a	平成30年度は9保健所・部に18市町村を加えた27機関が参加し、情報伝達経路の確認、各市町村の行動計画の確認を行うことで、健康危機管理対応能力が向上した。	
	実績値	27	27						
	達成率	100.0%	100.0%						

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理に関する体制の整備、情報管理体制及び対応能力の充実・向上 情報伝達等の広域対応訓練の実施にあたって全市町村及び第二種感染症指定医療機関の参加 	今後の方向性	<p>今後の事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ、エボラ出血熱及びMERSなど国際的な感染症発生動向を踏まえた対応訓練の実施 県及び各市町村が策定した新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく広域対応訓練の実施 上記広域対応訓練の充実に向け、第二種感染症指定医療機関と調整 	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
-------	---	--------	---	----	---------------	--------	----

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

(評価実施年度：令和元年度)

別紙2-4

事業名	結核医療体制強化事業		事業期間	平成29年度～令和元年度		政策区分	安全・安心な県土づくりと危機管理体制の充実		
				施策区分	感染症・伝染病対策の確立				
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	健康づくり支援課		評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	結核の拠点病院である西別府病院の結核診療医師の高齢化により、後継者が不足している。	事業の目的	結核を診療できる呼吸器科医師の県内定着を図るため、大分大学医学部に事業を委託し、研修医に結核医療を経験する機会を提供する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①結核診療医師の県内定着 研修医を西別府病院に派遣派遣し、結核診療の臨床研修を実施 委託先：大分大学医学部	①	12,163	総コスト	36,548	15,163	15,163
	②		事業費	33,548	12,163	12,163
	③		(うち一般財源)			
	④		(うち繰越額)	21,385		
	計	12,163	人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価割合	評価
西別府病院への研修医の派遣数(人)	目標値		2	2	2	2	100%	目標値							a
	実績値		2	2				実績値							
	達成率		100.0%	100.0%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(元年度)	評価	事業の成果
臨床研修を終了した医師の県内医療機関への配置数(人)	目標値		2	2	2	2	a	派遣医師に臨床研修や調査研究のための支援を行うことで、結核診療能力を有する医師の県内定着を図ることができた。
	実績値		2	2				
	達成率		100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 研修を終了した医師への継続した県内定着支援の実施 県内医療機関等への結核医療に係る指導や内容の充実 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 派遣している研修医への指導及び相談実施や、西別府病院での指導医との連携強化 				